

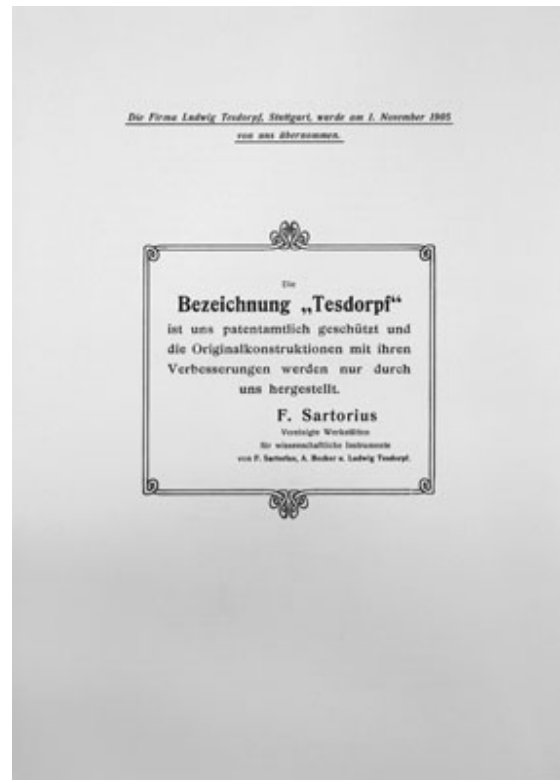
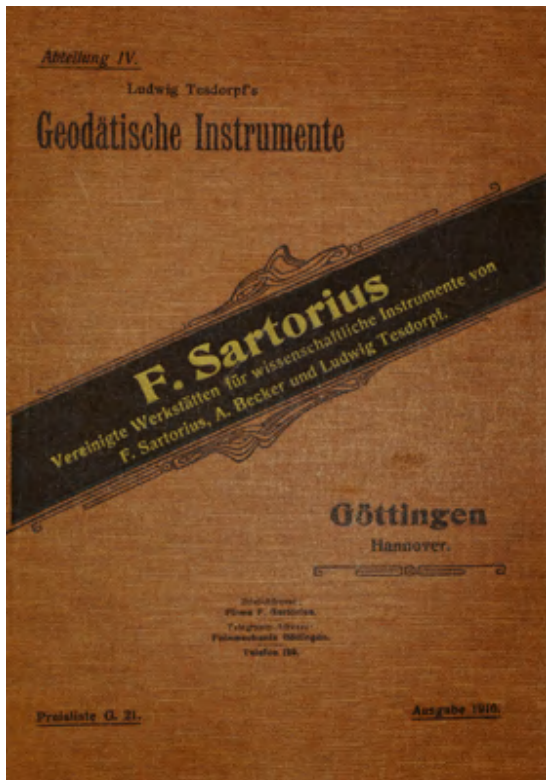
## F. Sartorius 社の測量機カタログより

2008年11月 浅野治男

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~personenzug/>

先に発表したザルトリウス製望遠鏡の調査が縁で、デジタル修復された1910年版ザルトリウス社測量機カタログ復元版を入手した。国内唯一の印刷物と思われる100年前のドイツ語で書かれたカタログより内容を簡単に紹介する。

### 表紙



左： F. Sartorius 1910 年版測量機カタログの表紙。 総ページ数 108

右： p3 「シュトゥットガルトの Ludwig Tesdorpf 社は 1905 年 11 月より弊社に引き継がれた」と記されている。 ザルトリウス社が測量機、天文器械、地磁気測定器、望遠鏡メーカーの Ludwig Tesdorpf 社を買収したことがわかる。

1870 年創業のザルトリウス社は創業者の息子たちが事業への参加を機会に業務を拡張し 20 世紀初め頃、天びん、マイクローム、インキュベータ(恒温器)、測量機、4 つの部門ができていた。(出典 \*1)

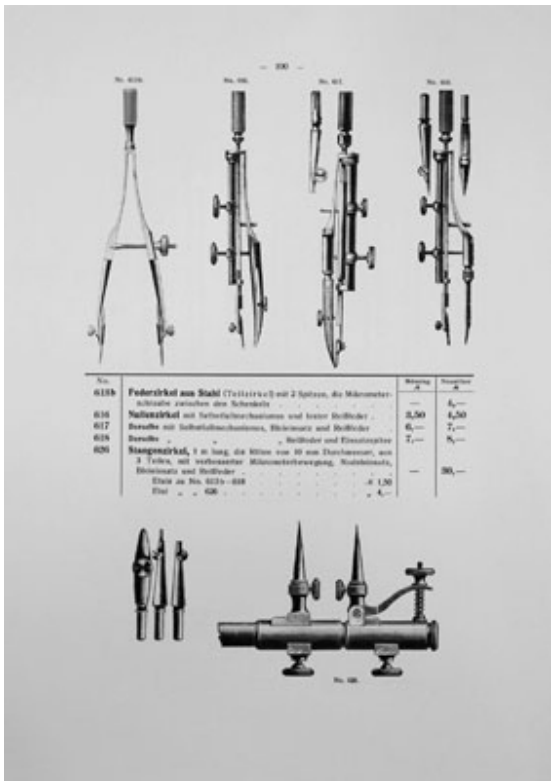
天びんは創業者が始めたオリジナル事業。マイクローム事業はゲッティンゲンにあった顕微鏡の会社 August Becker 社より買収した。インキュベータ事業は鶏の卵を人工的に温める孵卵器がヨーロッパでヒット商品になった。(\*1)

測量用と天体観測用ザルトリウスの望遠鏡は自社開発ではなく、企業買収によりブランド名が変わって市場に出た製品であることが上の記事よりわかった。





製図関係



製図道具の研究家向けの資料と思われるほど、ドイツ式コンパス、ディバイダ、カラスロ、計算尺、パンタグラフが多数紹介されている。コンパス類は真鍮製と洋銀製 2 種類の価格が載っている。



当時の F.SARTORIUS 社  
金属版画  
カタログ裏扉ページより。

二つの大戦による混乱と創業者の  
三男、四男の早死により第二次大  
戦中に測地事業は廃業した。(\*1)

参考資料 \*1

“Sartorius Chronicle 1870-2005”, Sartorius AG, Germany, 2006